

# 町政を問う!

## 一般質問 9議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 関根清隆 議員

1. コロナ禍対応について

### 日坂和久 議員

1. 町は地域防災対策において、町内会等の自主防災組織にむけて、各地域の特性に合った防災計画の策定ができるよう支援すべきと考えるが、いかがか
2. 美しい農村と魅力ある里山づくりについて

### 大賀広史 議員

1. コロナ禍における児童・生徒への影響
2. コロナ感染症対策
3. 来年度の北部地域活性化事業

### 根岸富一郎 議員

1. 新型コロナについて
2. 介護保険について
3. 難聴と認知症について

### 石井 徹 議員

1. 新型コロナウイルス対策の改正特別措置法並びに改正感染症法について
2. 特産品販売施設について

### 森 利夫 議員

1. 教育施設と公園の付帯設備について
2. 個人番号カードについて

### 野田小百合 議員

1. 男女共同参画社会をすすめるために
2. 誰一人も取り残さない施策の展開を
3. 消防広域化について

### 中山明美 議員

1. 町立幼稚園のこれから
2. テレワークの推進

### 小鷹房義 議員

1. 災害時の防災対策について
2. 新たな市民農園の開設を
3. 鳩山町上熊井農産物直売所について



関根清隆議員

## コロナ禍

## ワクチン接種の準備状況は

## 万全を期し体制を構築している

**問** コロナ禍における行政の役割分担は。  
**答** 国県は調査監視・医療・経済対策を主導し、市町村は予防・対策の普及などが役割。ワクチンについては、国県がワクチンの確保と供給を行い、市町村は接種の実施主体となる。町は町民が安心して接種を受けられるよう、全力で体制整備を行ってきた。65歳以上の接種は、麻見江ホスピタルと地域包括支援センターで実施する予定。

**問** ワクチン接種の広報はどのように行うのか。  
**答** 接種に先立ち、「ワクチン接種ご案内」の資料を郵送し、町民は予約をして接種を受ける。必要に応じ、郵送などにより迅速なお知らせを行う。

**問** アナフィラキシーショック等副反応発現時の対応は。  
**答** そのような場合に備え、常時医師2人と救急医療セット・抗ヒスタミン剤・抗けいれん剤等の準備と、救急搬送も想定した体制をとっている。



パルスオキシメーター

**問** 医療従事者以外に、介護関係者・教職員なども早期に接種が必要ではないか。  
**答** 国の統一基準に従えば、介護従事者は一般住民と同じだが、介護施設の場合とワクチンの流通量次第で、対応は可能なので検討する。

**問** 報道によれば、自宅待機感染者の急変により死亡者が出ている。血中酸素を測るパルスオキシメーターを感染者全員に貸与してもらえないか。  
**答** 感染者情報は、市区町村には知らされない。感染者を管理する坂戸保健所に確認したところ、現在は全てパルスオキシメーターを貸与できているとのこと。

日坂 和久 議員



## 自主防災組織は避難支援等関係者か 災害対策基本法では該当する組織

**問** 東日本大震災から10年経つが、今年に入つて福島県沖・宮城県沖を震源とする大きな余震が観測された。災害に対する心構えを見直す必要があると考える。災害発生直後は行政の支援が間に合わず、地域の主体的対応が重要となる。町も地域によって人口・年齢層・地形等が異なり、仮に同じ災害が発生した場合、その対応のあり方も異なる。大字・町内会等の地域特性に合った防災対策の再確認が必要で、町は情報提供等の支援をすべきである。まず何うのは、避難行動要支援者と地域支援者の登録状況と有効性についてである。

**答** 219人と214人。ほぼ同数だが、避難行動の安全は確保できるのか。

**問** 町内会等自主防災組織は避難支援等関係者か。そう考えている。

**答** 要支援者本人同意の上、情報提供いただければ、民生委員と連携し、共助力向上につながるが、情報提供を実施した。

**問** 谷埋型盛土造成地か否かも地域特性と考える町が想定している震度6以上の滑動崩落の危険度調査を実施し、安全性の立証を望む。

**答** 第二次スクリーニング計画の優先度評価として、盛土と擁壁の形状構造・宅地地盤法面の変状有無・地下水の有無・盛土下の不安定土層の有無等、3年度、現地踏査を実施する。



第二次スクリーニング計画優先度評価の実施予定エリア

組織は避難支援等関係者か。

## 地域協議の不調

### 行政によるコロナさぼりでは それぞれ考えはあるが感染症対策

大賀 広史 議員



**問** コロナ禍の児童・生徒不登校・いじめの状況に変化はあるか。

**答** それぞれ数件、確認しているが、コロナの影響によるものではない。

**問** 中学校の新3年生と新2年生は、ほぼ同数の生徒数なのに、3学級と2学級と格差があるが。

**答** 県費職員の割り当てが減っており、新2年生はこれまで同様、2学級の編成となるが、人数が多くても、きめ細かい教育を行うので、ご理解を願う。

**問** コロナワクチン接種事業。集団接種の会場は。

**答** 地域包括ケアセンターを3ヶ月貸し切りで会場とし、町内医療機関の医師等の協力のもと、高齢者の安全な接種に努める。そのほか、麻美江ホスピタルでも接種が可能。

**問** 町独自のコロナ対策。自宅療養などの高齢者へ1週間分の食料支援を宅配するサービスを。

**答** 県が保健所を通じて実施している。要望等、



安全なワクチン接種を

状況を見て検討したい。

**問** 事業者応援資金で、指摘したとおり、大幅な執行残が出た。町の貯金にまわす考えなのか。

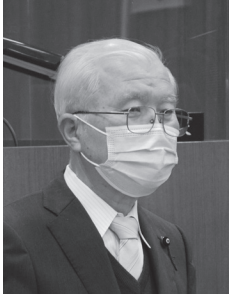
**答** 国の交付金の残額は返還すべきものであり、そのような考えはない。執行残は、第3次事業者応援資金等、適切に使う。

**問** 北部地域活性化事業。第1期計画の検証を、事業費総額や工事日程、完成度や反省点及び改善点を示すよう、要望する。

**答** 令和2年度はコロナ禍で、地元との協議が開催できなかった。令和3年度に第2期計画を策定するので、これと併せて、議会に報告したい。



根岸富一郎議員



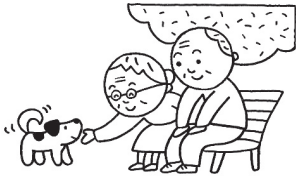
新型コロナ

接種とともに検査を

いま接種態勢を整えている

- 問** 医療・介護施設の感染状況はどうか。
- 答** 人数は、新聞などの公表と同じだ。
- 問** 施設全員のPCR検査が必要ではないか。
- 答** 県内の医療施設の入所者等に、12万5000人、介護施設入所者等に7万人分、3月末までに検査を終了する。
- 問** 町には何人の衛生管理者がいるか。
- 答** 5人の保健師が保健衛生業務と衛生管理を行っている。
- 問** ワクチン接種計画はできたか。
- 答** 2月末までに計画を策定し、3月には接種態勢等の準備を行う。いま、医師など関係機関等との調整をすすめている。
- 問** 寝たきり者など、1人では移動できない人の接種はどうか。
- 答** 基本的には接種は可能だ。人によって対応は違うが、今後、町で検討する。
- 問** 小中学校の感染状況はどうか。
- 答** 町内にはいない。

老後、元気に生きよう！



- 問** 介護保険について
- 問** デイサービスとホームヘルプサービスはどうか。
- 答** 利用者は4分の3程度減少する。
- 問** 令和2年度から松寿園で地域密着型に移行したが、利用人数はそんなに変化はない。
- 難聴と認知症について**
- 問** 難聴の医学基準は。
- 答** 聴力検査では、デシベル単位の基準を定めている。
- 問** 高齢者等と「コミュニケーション」をどうとるか。
- 答** 会話はゆっくり、大きな声で話すことが重要と考える。
- 問** 町独自の難聴対策はできないか。
- 答** 各種の難聴施策に取り組む。

改正コロナ関連法

ワクチン接種率向上への取り組みは

正しい理解の上、個人の判断で接種

石井徹議員



- 改正特措法感染症法**
- 問** 今回改正された特措法での町の対応は。
- 答** 国の基本的な対処方針の内容に従い、県の指示を仰ぎ対応していく。
- 問** 現在、町内飲食店の見回りを実施しているが、その目的は。
- 答** 毎週金曜日の午後8時頃に職員で実施。時短営業の要請に伴い、感染防止の取り組みと、協力金の交付要件の確認も併せて実施している。
- 問** 見回りにより事業者の認識が高まり、感染拡大防止への貢献が大きく、施策効果を感じるが。
- 答** 今回の要請に飲食店の協力があり、ありがたい取り組みと考えている。
- 問** ワクチン接種率向上の施策として、北部地域の方へ町営路線バスを活用して泉井交流体験エリアでの接種を提案する。
- 答** 地域包括ケアセンター接種会場への交通手段の確保で、デマンド交通、町内循環バスの利用券を配布予定。新たな接種会場については検討する。



接種会場提案の泉井交流体験エリア

- 特産品販売施設**
- 問** 本年9月で廃止になるが処分はどのように。
- 答** 上熊井農産物直売施設の開設に伴い9月で廃止し、処分方法を令和4年度迄に検討する。
- 問** 現在の運営者、また出店者への対応は。
- 答** 運営者の「美味の会」には、上熊井農産物直売所で継続して特産品製造と飲食営業をしていただき、出店者にも継続してお願いしていく予定。
- 問** 農産物直売所への（株）良品計画の協力は得られるのか。
- 答** 町全体の活性化への参画を協議していく。

個人番号カード

住民票等のコンビニ交付手数料は

役場窓口で支払う手数料と同額



森 利夫 議員

**問** 教育施設と公園について、凍結による給水管等の事故の発生状況と修理費用は。

**答** 公園に関しては今年度5件で、修繕費用は約26万円である。教育施設では8ヶ所で、約25万円である。凍結以外に設備での故障修理等は、3小学校合計で18件、修繕費用は約377万円。中学校では8件、約93万円である。中央公民館、体育館等では、7件で約45万円を支出している。

**問** 高額な緊急工事の修繕費用は、どのように捻出しているのか。

**答** 予備費を充当する場合もあるが、必要な仮対応を行い、補正予算議決後、工事を実施している。

**問** 老朽化が著しい給排水設備の改修を計画的に予算化するべきと思うが。

**答** 今後、研究していく。

**問** 個人番号カードの取得状況は。

**答** 令和元年10月では2007人であったが、令和3年1月では、1087人増え、3094人の

方々が申請している。

**問** 4月から始まるコンビニ交付等の利用勝手は。

**答** 年末年始を除く、午前6時半から午後11時まで、住民票等の交付サービスを開始する。

**問** コンビニへの発行手数料は。

**答** 日時場所にとらわれず、現状と同額である。

**問** 健康保険証として利用が可能になるのは。

**答** 国としては3月中の利用開始を予定しているが、医療機関の機器導入も必要であり、未定。全国の大きな病院500機関程度では、3月からスタート使用を開始する。



4月から住民票等の交付サービスが始まるコンビニ店

男女共同参画

役場から地域からすすめないか

前進できるように考えていきたい



野田小百合 議員

**問** 育児休業制度の取得状況は。

**答** 女性職員100パーセント、男性職員0パーセント。男性職員の取得をどのように増やすかが課題。

県や他市町村の状況を研究し、取得しやすい環境を整備していきたい。

**問** 審議会等の女性登用比率は。

**答** 令和2年度審議会等の数は30、うち女性委員がいるのは23。総委員数344人、うち女性は107人、女性比率31パーセント。目標は30パーセント以上。

**問** 「奥さん」、「主人」、「父兄」など首を傾げたくなる言葉。男女共同参画の視点に立った言葉の使い方を考えないか。

**答** イラストや言葉などは、人々の意識に大きな影響を与える。男女共同参画の視点に立つて、より適切な表現を考えることが重要。男女共同参画社会の実現へ一歩でも前進できるように考えていく。

**問** 大人のひきこもりの実態を把握しているか。

**答** 調査していない。総合相談支援窓口への相談は、昨年12月までにひきこもり等が107件。前年比でやや増加。

**問** 仕事の創出をめざして施策検討が必要では。

**答** 障がいのある方、生活困窮している方への支援は、坂戸市就労支援センターやアスポート支援センター等と連携し、その人に合った就職・社会参加支援を行っている。長期ひきこもりの方に対して、社会との接点を持つことを念頭に、社会復帰をめざし、その後、就労等の支援を行う。



埼玉県県民生活部男女共同参画課

「埼玉県男女共同参画 表現ガイド」の表紙イラスト



中山 明美 議員



幼児教育

検討委員会の概要は

今後の在り方を広く検討する場

**問** 「鳩山町における幼児・児童教育の今後の在り方に関する町民検討委員会」の概要はどのようなか。

**答** 幼稚園について、様々な角度からの検討が必要であるため、学校関係者、識見を有する者、各種団体を代表する者、公募委員、関係課の職員などで構成する検討委員会を設置し、検討する。

**問** 幼稚園が町内に1つ町は、教育的意義をどう捉えているか。

**答** 幼稚園は、学校教育法に位置づけられた教育機関。教育的存在意義は大きい。町内の乳幼児の減少や、園児数の減少など町の現状を踏まえ、幼児・児童教育の今後の方向性について、幅広い検討が必要である。

**問** 教育委員会と幼稚園の話し合いの場はあったか。

**答** 話し合いの場はもっていないが、教育委員会の会議の際に年々、園児数が減少している状況や、昨年度や今年度の入園児の申込み者が急激に減少

鳩山幼稚園 まゆ玉作り



しているということも報告し、教育委員の意見を伺っている。

**問** 3年保育・給食の希望を調査したか。

**答** 園運営に関する内容の調査は、アンケートなどを広く実施したことはない。調査の実施については、必要に応じて検討委員会の中で協議していきたい。

**問** 3年保育や給食も含めて検討委員会で協議・検討していただくという理解でよいか。

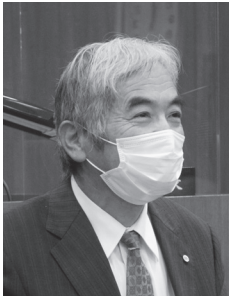
**答** そういった点も含めて、検討委員会で検討していただければと思っている。

災害対策

水道が止まってしまったら

指定避難所において優先的に給水

小鷹 房義 議員



**災害発生時の防災対策**

**問** 水道事業では鳩山町地域防災計画の中で、どのように活動するのか。

**答** 水道施設が災害事故等により給水不可能になった時には飲料水、医療用水、生活用水を供給し、住民生活の維持ができるよう応急給水を実施。

**問** 災害時の応急給水拠点はどこか。

**答** 指定避難所において、優先的に応急給水を行う。応急給水資機材として、備蓄している1800リットルのタンク2基を2台の車両に載せて各避難所を巡回する。

**問** 災害時に、学校のプールの水が飲料水として利用できることを児童・生徒は学んでいるのか。

**答** 社会、理科、総合の授業や、プール清掃時、また避難訓練の時に活用されることを周知している。防災訓練の時、実際に試飲した児童・生徒もいる。

**問** 各学校敷地内に井戸の整備を進めたらどうか。



10月1日開所 上熊井農産物直売所

**答** 災害時にプールの水を活用することで、給水用井戸の整備は考えていない。

**新たな市民農園の開設を**

**問** 耕作放棄地の解消にならないか。

**答** 市民農園は有効な農地利用につながるが、町がすでに整備しているふれあい農園の活用を図っていききたい。

**上熊井農産物直売所**

**問** 従業員と出荷者の募集は、いつ頃か。

**答** 現在はオープンに向けて協議を行っている。また、町では出荷募集に関する説明会の開催を計画している。出荷者の募集は5月頃の予定。従業員の募集は現在検討中。